

『JVA 2023 年上半期(1月～6月) 統計調査結果』について

当協会はこのたび、2023 年上半期(1月～6月)の JVA 会員メーカーのビデオソフト出荷統計をまとめましたので、その概要につきお知らせいたします。

2023 年上半期 (1月～6月) の実績について

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は 570 億 7,400 万円で前年同期比 102.2%となった。フォーマット別にみると、DVD ビデオは 210 億 9,300 万円で前年同期比 92.1%と前年同期を下回ったが、ブルーレイ (Ultra HD Blu-ray を含む。以下、ブルーレイと表記。) は 359 億 8,100 万円で同 109.3%と前年同期を上回った。結果、DVD とブルーレイの構成比率をみると、前年同期に比べてブルーレイの比率が増加し 63.0%となっている。

<添付資料 表 1 >

2. ビデオソフト全体 (DVD ビデオとブルーレイの合計) の売上金額を販売用、レンタル店用の市場別にみると、販売用が 520 億 100 万円で前年同期比 105.6%と増加した一方、レンタル店用は 43 億 3,400 万円で同 71.9%と減少傾向であった。販売用、特殊ルート、レンタル店用、業務用の売上金額における割合は、91.1 対 0.2 対 7.6 対 1.1 となっており、前年同期と比べ販売用が増加、レンタル店用が減少となっている。

<添付資料 表 4 >

3. DVD ビデオの販売用売上金額は 166 億 7,400 万円で前年同期比 97.6%と前年同期を下回ったが、ブルーレイの販売用は 353 億 2,700 万円で同 109.8%と前年同期を上回る結果となった。また、販売用全体に占めるブルーレイの割合は 67.9%となり、前年同期から増加傾向となっている。

<添付資料 表 5A >

販売用全体の売上金額をジャンル別にみると、構成比 51.3%で第 1 位の『音楽 (邦楽)』は前年同期比 111.5%、構成比 23.2%で第 2 位の『日本のアニメーション (一般向け)』は同 117.8%と、ともに前年同期を上回った。また、構成比 7.9%で第 3 位の『日

本のTVドラマ』が前年同期比124.0%、構成比4.5%で第4位の『芸能・趣味・教養』も前年同期比128.2%と、構成比1位から4位までのジャンルは全て前年を上回る結果となった。第1位の『音楽（邦楽）』は、『King & Prince First DOME TOUR 2022 ~Mr.~』や『King & Prince ARENA TOUR 2022 ~Made in~』、『なにわ男子 Debut Tour 2022 1st Love』等のリリースが、第2位の『日本のアニメーション（一般向け）』は、『シン・エヴァンゲリオン劇場版 EVANGELION:3.0+1.11 THRICE UPON A TIME』や『ONE PIECE FILM RED』等劇場アニメ作品のリリースがそれぞれ構成比拡大に貢献した。この上位2ジャンルで、販売用全体の7割以上を占める。

<添付資料 表7>

4. ブルーレイの販売用をジャンル別に見てみると、構成比48.7%で第1位の『音楽（邦楽）』は前年同期比117.3%、構成比29.4%で第2位の『日本のアニメーション（一般向け）』は同120.2%と、ともに前年同期を上回った。また構成比6.7%で第3位の『日本のTVドラマ』も同137.5%と大きく伸長した。一方、構成比4.6%で第4位の『洋画（TVドラマを除く）』は、前年同期比52.0%と大きく下回る結果となった。

<添付資料 表7>

5. DVDビデオの販売用をジャンル別に見てみると、構成比57.0%で第1位の『音楽（邦楽）』は前年同期比102.4%、構成比10.5%で第2位の『日本のTVドラマ』は同109.3%と、ともに前年同期を上回った。また構成比10.0%で第3位の『日本のアニメーション（一般向け）』が前年同期比104.9%、構成比4.8%で第4位の『芸能・趣味・教養』も前年同期比113.3%と、構成比1位から4位までのジャンルは全て前年を上回る結果となった。

<添付資料 表7>

6. レンタル店用全体の総売上金額におけるDVDビデオとブルーレイの構成比は、95.8対4.2となり、DVDビデオが全体の殆どを占める状況が続いている。DVDビデオのレンタル店用の売上金額が41億5,000万円で前年同期比75.1%、ブルーレイは1億8,400万円で同36.4%と、ともに前年同期を大きく下回る結果となった。

<添付資料 表5B>

7. レンタル店用全体の売上金額をジャンル別にみると、構成比27.0%で第1位の『アジアのTVドラマ』が前年同期比83.1%と前年同期を下回った。一方、構成比22.4%で第2位の『日本のアニメーション（一般向け）』が前年同期比107.4%、構成比14.0%で第3位の『日本のTVドラマ』が同120.2%と、それぞれ前年同期を上回る結果となった。この上位3ジャンルで、レンタル店用全体の6割以上を占める。一方、構成比13.4%で第4位の『邦画（TVドラマを除く）』が前年同期比45.6%、構成比9.7%で第5位の『洋

画 (TV ドラマを除く)』が同 45.8%と、ともに前年同期を大きく下回る結果となった。

<添付資料 表 8 >

8. 売上金額を売上数量で割って求めた 1 枚当たりの単価を見てみると、DVD ビデオ及びブルーレイの「販売用」の平均単価は DVD ビデオで 3,972 円、ブルーレイで 6,007 円となり前年同期から単価が上昇した。また、「レンタル店用」の平均単価も DVD ビデオで 1,504 円、ブルーレイで 2,289 円となり、こちらも前年同期から単価が上昇した。

<添付資料 表 6 >

以 上

#### 追記

<本統計調査報告についての注意点>

- 本報告は、JVA 会員社が発売、販売する自社作品および他社作品の出荷段階の売上をまとめた統計である。
- 返品分は金額、数量とも調査時点において差し引いている。
- DVD とブルーレイのコンボ作品はブルーレイにカウントしている。
- 「日本の子供向け(アニメーション)」などにある“子供向け”とは、目安として9歳以下の子供を対象とした作品のこと。
- ブルーレイの売上には Ultra HD ブルーレイの売上を含む。
- 「特殊ルート」とは、雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるものの売上のこと。